

謹賀新年

年頭のご挨拶



沼田町長 26歳
金平嘉則

新年、明けましておめでとうございます。日頃より町行政運営に対しご理解とご協力をいただいておりますことに、厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、10年後・20年後を見据えて計画された「農村型コンパクトエコタウン構想」の中心的な施設であります「商業コミュニティ中核施設」（まちなかほっとタウン）、沼田厚生クリニック、デイサービスセンター、地域あんしんセンターの3つの施設を一体とした「地域密着多機能型総合センター」（暮らしの安心センター）の2つの施設がオープン致しました。両施設は、本町にとって重要な施設であり、「住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられるまち」を目指し、多くの町民皆さまにご利用いただけるよう願っております。

本町の基幹産業であります農業につきましては、6月の低温・日照不足で生育が停滞したものの7月以降天候に恵まれ、順調に成熟が進み、収量品質ともに平年を上回る見込みとなっております。また、畑作物に関しても初期生育の遅れが心配されましたが、平年並み以上の収量となりました。しかしながら、次年度より国の農業政策の根幹でありました転作制度が廃止転換さ

れるなど、今後の国の農業政策の予測が困難な状況ですが、本町農業の持続的発展のため農業者並びに関係機関・団体と連携し対策に努めてまいります。

商工業では、東京都に本社を置くプラスチック容器製造業のタスマン株式会社と、沼田工業団地売買契約を結ぶことが出来、新たな雇用創出に繋がるなど、明るい出来事がありました。

少子高齢化と人口減少が進む環境は、町政運営にとって決して容易なものではなく、一昨年末に報道がなされたJR留萌線に関するJR北海道の方針など、課題が山積しておりますが、現在進行中の「第5次沼田町総合計画後期基本計画」や、「沼田町人口ビジョン」「沼田町総合戦略」などの各種計画に基づき、本年も「暮らし続けられるまちづくり」のため町民皆さまと一体となつて取り組んでまいりたいと考えておりますので、引き続き一層のご協力ご支援をお願い申し上げます。

平成30年が町民皆様にとって健康で充実した1年となることを心からご祈念申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。

沼田町議会議長

渡邊敏昭



平成30年の新春を迎え、議会を代表し謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

町民の皆様には、日頃から議会活動に對しまして、暖かいご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は、基幹産業の農業におきまして、6月の低温と雨模様が続いたことによる日照不足の影響から生育が停滞し、遅れが生じたところでしたが、7月以降の天候に恵まれ生育も回復し、水稲、畑作物共に平年以上の収量となりました。また、町民の皆様と多くの議論を重ね進めてきた「暮らしの安心センター」と「まちなかほっとタウ

ン」がオープンした年でもありました。町民の皆様が安心して暮らし続けられるよう両施設が町民の皆様にも愛される施設として有効に活用されることを切に願うところであります。

さて、米国のTPP離脱により発効の先行きが不透明な状況にある自由貿易協定の動向は、基幹産業である農業のみならず地域経済にも大きな影響を及ぼすものであります。また、道内有数の米の生産を担う地域として、食料供給力の確保に必要な農業基盤である農地や農業水利施設の整備を継続的かつ安定的に実施することが不可欠であり、更には意欲ある担い手の確保と育成は、少子高齢化により人口減少が進む本町の地域を支える重要な事項でもあります。議会といたしましても、今後とも国政政策や町政課題を要望書や意見書にまとめ、内閣や関係部局に提出し実行運動を続けていくとともに、JR問題等北空知圏域が抱える共通課題については、連携して取り組んで参る所存であります。

今年も町民の付託に応えられる様、努力することを誓うとともに、皆様方からご指導いただき、ありがとうございます。年頭のご挨拶といたします。

沼田消防団長

大原正己



新年あけましておめでとうございませう。

町民の皆様方には、健やかに希望の新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。また、平素より沼田消防団の活動にご理解とご協力をいただきありがとうございますことに深く感謝申し上げますと共に、日頃団員の皆さんを陰で支援いただいているご家族の方々に對しても心よりお礼を申し上げます。

さて、昨年は全国各地で台風や集中豪雨など異常気象ともいふべき局地的な自然災害が相次ぎ多くの市町村に甚大な被害をもたらしました。本町において

は、穏やかな気候に恵まれ自然災害等は少ない状況であります。が、3件(12/7現在)の火災が発生しており深川地区消防組合管内の火災発生件数も21件と前年同期(14件)の発生件数を大きく上回る残念な結果となりましたが、災害の早期発見、通報により被害を最小限に抑えられたことは地域町民一人ひとりの防火意識の高さの表れでありお礼を申し上げます。

我々消防団は災害に對し使命感と奉仕の精神を持ち、町民の皆様と一体となって「自分たちの町は自分たちで守る」という深い郷土愛護のもと、火災はもとより風水害等の大規模災害に即時対応できる防火防災活動の向上に取り組んでまいります。

結びに、この1年が無火災、無災害であります共に、町民の皆様のご健康とご多幸をご祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。



深川警察署
沼田警察庁舎所長

布施唯隆



新年あけましておめでとうございませう。

沼田町の皆様には、平素から交通安全、暴力追放、青少年の健全育成のほか、犯罪の予防のための諸活動にご参加いただいていることに対し厚く御礼を申し上げます。

皆様ご承知のとおり、昨年4月1日に、パトロール活動の強化、夜間・休日の体制強化、事案対応能力の強化などを目的として沼田警察署と深川警察署が統合となり、深川警察署沼田警察庁舎として新たなスタートを

切らせていただきました。

さて、昨年の治安情勢を振り返りますと、沼田町におきましては刑法犯の認知件数は前年に続き減少し、また交通事故死ゼロも更新しているところであり、これも各関係機関や町民の皆様のご支援ご協力の賜と深く感謝しております。

しかし、道内では、高齢者被害の特殊詐欺が大きく増加したほか、強盗等の凶悪犯罪や悲惨な交通事故死事故が依然として後を絶たないなど警察を取り巻く諸情勢は楽観を許さない状況であります。

このような情勢を踏まえ、警察署と致しましても、「犯罪や事故の無い安心して暮らせる北海道の実現」に向け、職員一丸となつて地域の治安維持に邁進する所存でございますので、これまでと同様に支援ご協力を賜りますようお願い致します。

結びに、沼田町の皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げます。また、新年のご挨拶とさせていただきます。

沼田弾薬支処長
兼沼田分屯地司令

井野清一



新年あけましておめでとうございませう。

沼田町の皆様には、希望に満ちた新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

また、日頃から陸上自衛隊へのご理解並びに沼田分屯地に勤務する隊員に対する温かなご支援ご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

昨年、国内では九州北部において集中豪雨による大規模な自然災害が発生したほか、道内においても台風接近に伴う降雨、暴風による被害が発生しまし

た。

また、国際情勢では、北朝鮮による度重なるミサイル発射実験が実施され、その一部が北海道上空を通過する等、日本を取り巻く安全保障環境の厳しさを一層感じる年でありました。

このような中で、沼田分屯地としましては、皆様の期待にこたえるべく、北海道防衛の任務はもろろのこと、様々な任務にも確実に対応できるよう訓練を積み重ね、その成果を蓄積して、各種事態に適切に対処できるよう努力して参る所存です。

また、各種地域活動に積極的に参加させていただくことにより、皆様との連携のより一層の強化を図っていきたくと考えております。

結びに、本年も沼田分屯地に対する変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願いいたしますとともに、皆様のご健勝と御多幸を祈念申し上げます。また、新年のご挨拶とさせていただきます。